

## 研究計画概要書

研究課題名		エキスパートナースの認知行動のフレーム意味論的解析の看護支援システムへの統合
研究組織	研究責任者 (所属・職名・氏名)	名古屋大学医学部附属病院・メディカル IT センター・助教・ 船田 千秋
	共同研究者 (所属・職名・氏名)	名古屋短期大学・英語コミュニケーション学科・准教授・ 大西 美穂 奈良学園大学・保健医療学部・非常勤講師・服部 兼敏 独立行政法人国立病院機構四国がんセンター・臨床研究センター・看護師・菊内 由貴
	研究事務局 (機関の名称・住所・連絡先)	名古屋大学医学部附属病院メディカル IT センター 住所：愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地 連絡先：(TEL) 052-744-1977
研究の意義・目的		本研究の目的は、これまで非言語的に伝えるしか方法が無いと考えられてきたエキスパートナースの実践（暗黙知）における認知行動（思考プロセス・行動プロセス）を認知言語学のフレーム意味論によって解明し形式知化することで、電子カルテにおける看護支援システムの高機能化、効率化を目指す。
主な選択基準		本研究で対象となる看護学生、看護師は以下の 4 レベルを対象とし、それぞれ 10 人程度とする。 【看護学生】ラダーレベル：初心者レベル（受け持ち患者を担当し、その患者の看護計画を立案できる 3 年生、または 4 年生） 【看護師】ラダーレベル：新人レベル（新入職 2 年目）、中堅レベル（5 年目）、達人レベル（認定・専門看護師）
研究方法		本研究では、研究対象者が提示した事例に対して、研究対象者とともにグループ討議（2 時間程度）を行い、看護記録として要約されこれまで語られなかった看護の「世界知識」すなわち「暗黙知」を言語化・可視化する。言語化・可視化された看護の暗黙知を汎用されている看護用語としての MEDIS-DC 看護実践用語標準マスタ用語に変換する。マスタ用語に変換することにより「暗黙知」を表象化し、認知言語的に構造化するとともに、テキストマイニング手法を用いて共起を計量的に測定する。汎用看護用

	語と共起した言語（世界知識の一部）のコンコルダンス（その語を含む文）を抽出し、看護支援システムに搭載する用語マスタ、看護計画マスタを策定する。
研究期間	実施承認日～2020年3月31日
インフォームド・コンセントの方法	文書を用いて、研究対象者から同意を取得する。
個人情報の管理体制（個人情報管理者、連結表の管理体制等）	<p>本研究では、名古屋大学医学部または医学部附属病院に所属する看護学生または看護師から、臨床経験・研修経験等で区分される到達レベル（ラダー）ごとの看護の内容（事例に対する看護）をグループワークやインタビューから得、そこで語られる内容を情報化して使用する。（患者個人の情報を扱う研究ではない。）データは外付けHDDに保管する。また、研究対象者から得たデータに関しては、単に統計的に処理できるデータとして、個人を特定できない状態で利用する。</p> <p><b>【個人情報管理者】</b>  名古屋大学医学部附属病院・メディカルITセンター・病院教授・白鳥 義宗</p>
研究で収集した試料・同意書の保管場所、研究終了後の試料の取扱い	収集した資料は施錠可能な保管庫で保存し本研究以外で使用することはない。また、研究終了後10年を経過した後、紙資料はシュレッダーで粉碎処分し、電磁的データは消去用ソフトにより適切に削除する。

※この概要書は、HP等で公開されることを前提に作成し、原則としてA4 2枚以内に収めること。

※共同研究の場合、本学の役割・研究体制が分かるように記載すること。

## **研究課題名「エキスパートナースの認知行動のフレーム意味論的解析の看護支援システムへの統合」に関する情報公開**

### **1. 研究の対象**

2017年9月1日～2018年5月31日の期間中に、名古屋大学医学部または医学部附属病院に所属する看護学生または看護師のうち、4つのラダーレベル(初心者レベル、新人レベル、中堅レベル、達人レベル)ごとに10名程度。

### **2. 研究目的・方法・研究期間**

本研究の目的は、ベテラン看護師の「世界知識(言葉の下に隠された典型的な状況)」を新人看護師に示すことができるよう、研究対象者から得た情報を整理し、電子カルテにおける看護支援システムの高機能化、効率化を検討していきます。

情報収集期間:2017年9月1日～2018年5月31日

情報整理、構築期間:2018年6月1日～2020年3月31日まで

### **3. 研究に用いる試料・情報の種類**

本研究では、被験者が提示した事例に対して、研究対象者と被験者によって、提供すべき看護の内容についてグループ討議を行い、そこで語られた、または可視化された看護の内容を情報化(データ化)します。

### **4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

#### **照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先**

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

(TEL)052-744-1977(FAX)052-744-1916

名古屋大学医学部附属病院 メディカル IT センター ・助教・船田千秋(研究責任者)